



1 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。令和7年12月に公表した「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」の概要は、次の通り（表1～3。詳細は2026年2月号参照）。

令和7砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：178万6000トン（前年度比0.1%増）

総供給量：178万3000トン（同1.7%減）

【加糖調製品】

消費量および供給量：35万2000トン（同3.0%減）

【異性化糖】

消費量および供給量：78万トン（同1.8%増）

表1 令和7砂糖年度における砂糖の需給見通し

(単位：千トン)

		令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計	
			10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)		
消費量	分蜜糖	1,747	459.7	401.9	446.4	442.0	1,750	
	含蜜糖	39	7.6	10.5	10.0	8.1	36	
	合計	1,785	467.3	412.4	456.4	450.1	1,786	
供給量	国内産糖	分蜜糖	683	324.3	267.9	37.4	-	630
		含蜜糖	11	1.1	6.7	0.7	-	8
		小計	694	325.4	274.6	38.1	-	638
	輸入糖	分蜜糖	1,114	294.6	173.3	331.9	338.4	1,138
		含蜜糖	7	1.3	2.4	1.9	0.8	6
		小計	1,120	295.9	175.7	333.8	339.2	1,145
	合計	分蜜糖	1,797	618.9	441.2	369.3	338.4	1,768
		含蜜糖	17	2.4	9.1	2.6	0.8	15
		小計	1,814	621.3	450.4	371.8	339.2	1,783
	期末在庫		334	467.1	505.1	420.6	309.7	310

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分蜜糖は精糖ベースの数量、含蜜糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分蜜糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和7砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

(単位：千トン)

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計
		10月～12月 (実績見込み)	1月～3月 (見通し)	4月～6月 (見通し)	7月～9月 (見通し)	
消費量	363	87.9	87.7	83.7	92.3	352
供給量	363	87.9	87.7	83.7	92.3	352

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（平成30年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和7砂糖年度の消費量は、令和6砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和7砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	令和6砂糖年度 (実績)	令和7砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	766	168.7	174.9	222.9	213.0	780
供給量	766	168.7	174.9	222.9	213.0	780

資料：農林水産省「令和7砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

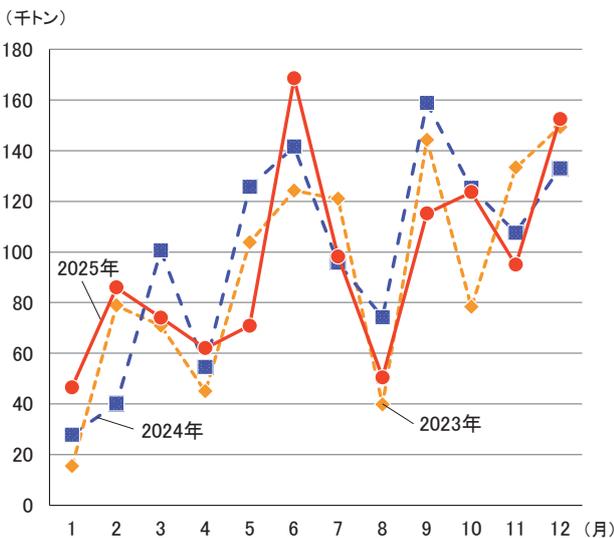
12月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2025年12月の甘しや糖・分蜜糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州、以下同じ）の輸入量は、15万2309トン（前年同月比14.5%増、前月比60.4%増）であった（図1）。

輸入先については、甘しや糖・分蜜糖は輸入実績が無く、甘しや糖・その他は豪州で、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図2）。

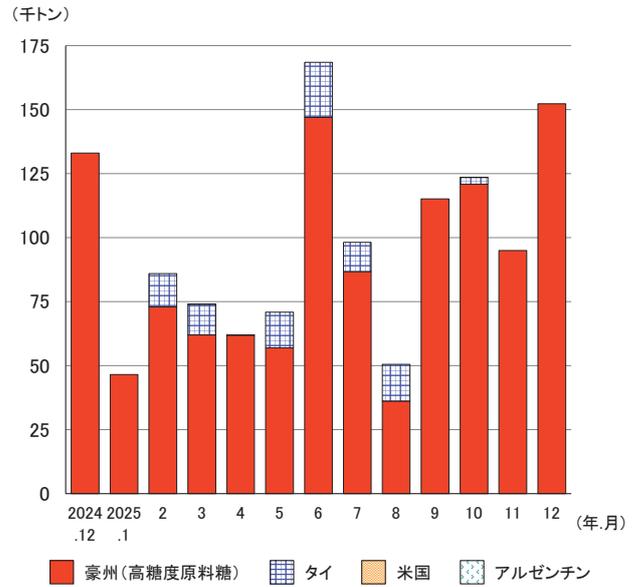
豪州 15万2309トン
(前年同月比14.5%増、前月比60.4%増)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国・地域別輸入量の推移



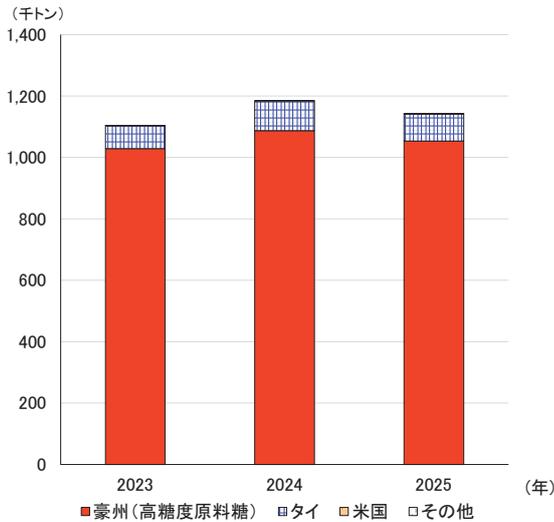
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

また、2025年1～12月の甘しや糖・分蜜糖および甘しや糖・その他の輸入量は、114万2316トン（前年比3.6%減）であった（図3）。

輸入先は豪州、タイ、米国およびアルゼンチンの4カ国で、国・地域別の輸入量は次の通りであった。

- 豪州 105万3466トン（前年比3.1%減）
- タイ 8万8790トン（同8.8%減）
- 米国 56トン（同1.8%減）
- アルゼンチン 4トン（前年輸入実績なし）

図3 粗糖の年別、国・地域別輸入量の推移



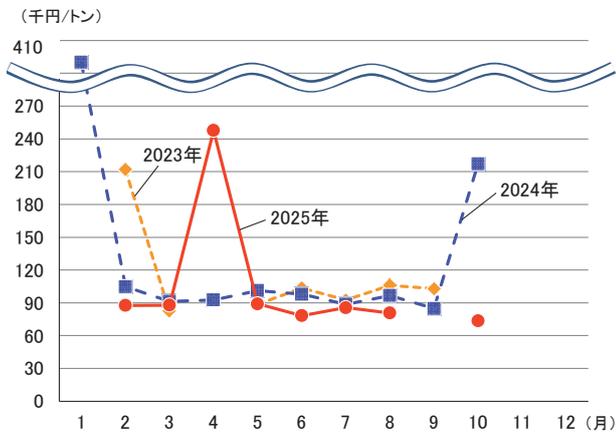
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2025年12月における1トン当たりの輸入価格は、甘しや糖・分蜜糖は輸入実績が無く（図4）、甘しや糖・その他は、6万7371円（前年同月比28.1%安、前月比2.7%高）であった（図5）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

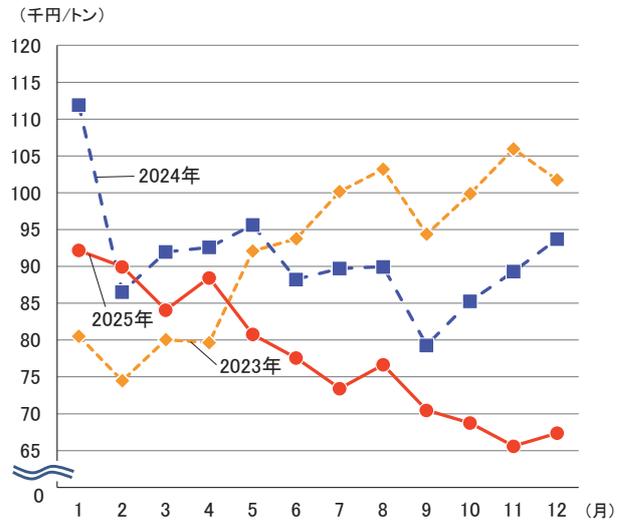
豪州 6万7371円
（前年同月比28.1%安、前月比2.7%高）

図4 粗糖（HSコード1701.14-110）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：2023年1月、4月、10月、11月、12月、2024年11月、12月、2025年1月、9月、11月および12月は輸入実績なし。

図5 高糖度原料糖（HSコード1701.14-200の豪州）の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

【含蜜糖の輸入動向】

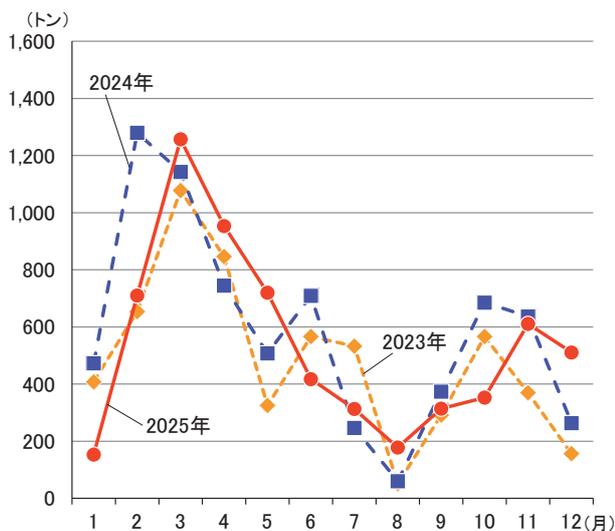
12月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2025年12月の含蜜糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、511トン（前年同月比93.6%増、前月比16.4%減）であった（図6）。

輸入先は中国、ポリビア、コスタリカ、フィリピン、ネパールおよびインドで、国・地域別の輸入量は次の通りであった（図7）。

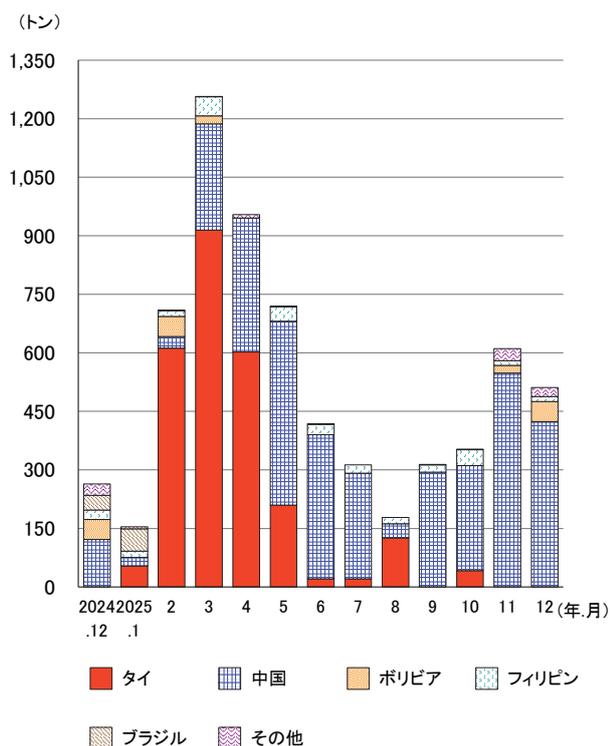
中国	424トン
	（前年同月比3.5倍、前月比22.6%減）
ポリビア	51トン
	（前年同月同、同2.6倍）
コスタリカ	20トン
	（前年同月同、前月輸入実績なし）
フィリピン	13トン
	（同45.8%減、前月比8.3%増）
ネパール	2トン
	（前年同月および前月輸入実績なし）
インド	1トン
	（前年同月比75.0%減、前月比83.3%減）

図6 含蜜糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図7 含蜜糖の国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

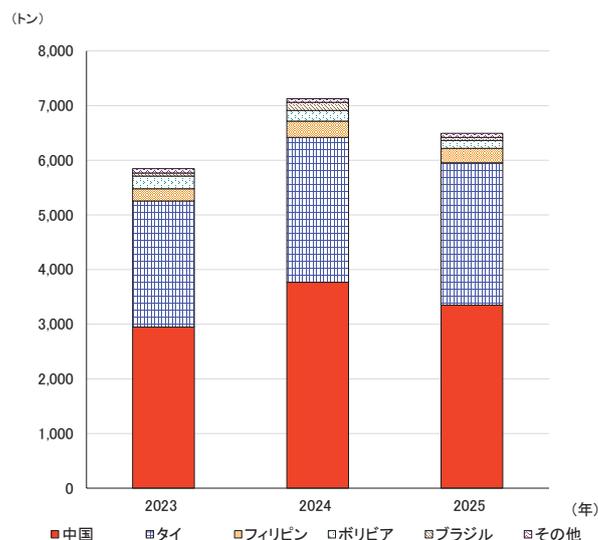
また、2025年1～12月の含蜜糖の輸入量は、6493トン（前年比8.9%減）であった（図8）。

輸入先は中国、タイ、フィリピン、ボリビアおよびブラジルなど11カ国で、国・地域別の輸入量は

次の通りであった。

- 中国 3350トン（前年比11.0%減）
- タイ 2603トン（同1.8%減）
- フィリピン 266トン（同10.7%減）
- ボリビア 142トン（同26.8%減）
- ブラジル 57トン（同62.5%減）
- インド 27トン（同50.0%増）
- コスタリカ 20トン（同51.2%減）
- モーリシャス 20トン（前年輸入実績なし）
- ペルー 5トン（前年同）
- ネパール 2トン（前年輸入実績なし）
- パキスタン 1トン（前年輸入実績なし）

図8 含蜜糖の年別、国・地域別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

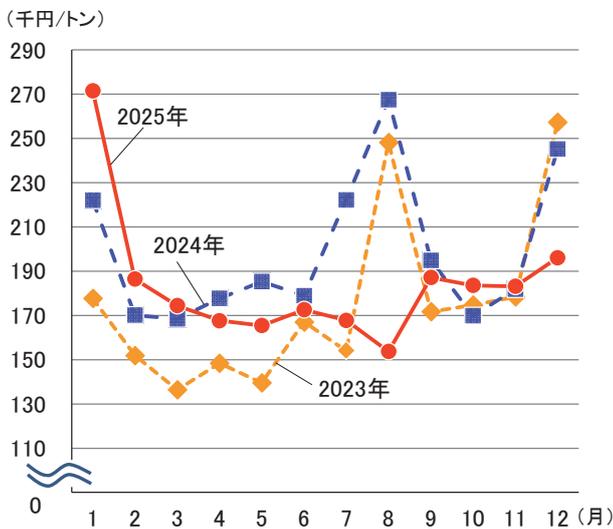
2025年12月の1トン当たりの輸入価格は、19万6127円（前年同月比20.0%安、前月比7.1%高）であった（図9）。

国・地域別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- 中国 18万4120円
（前年同月比6.9%高、前月比6.4%高）
- ボリビア 20万7431円
（同0.8%高、同8.7%安）

コスタリカ 25万7850円
 (同4.4%高、前月輸入実績なし)
 フィリピン 35万5385円
 (同18.6%安、前月比19.8%安)
 ネパール 55万9000円
 (前年同月および前月輸入実績なし)
 インド 68万円
 (前年同月比2.0倍、前月比93.9%高)

図9 含蜜糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

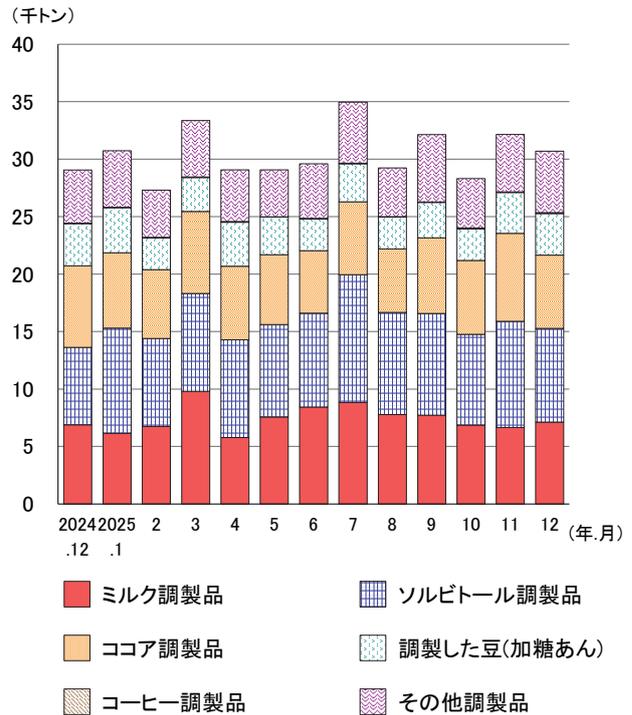
【加糖調製品の輸入動向】

12月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2025年12月の加糖調製品の輸入量は、3万692トン（前年同月比5.6%増、前月比4.5%減）であった（図10）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図10 加糖調製品の品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：各品目のHSコードは、次の通り。
 ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、
 1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、
 1806.90-212、1806.90-213
 コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、
 2101.12-246
 調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、
 2005.51-199
 ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-284
 ソルビトール調製品：2106.90-510
 その他調製品：2008.99-269、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、
 2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

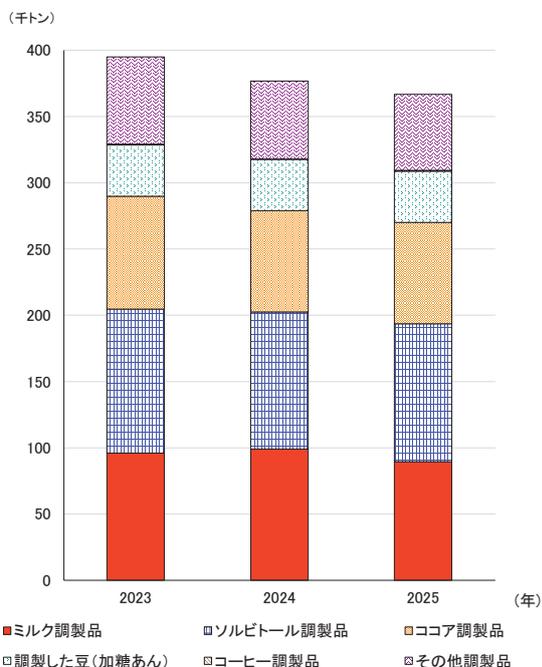
表4 加糖調製品 品目別輸入量（12月）

区分	輸入量	(単位：トン)	
		前年同月比 (増減比)	前月比 (増減比)
ミルク調製品	7,122	3.4%	7.1%
ソルビトール調製品	8,144	21.0%	▲12.0%
ココア調製品	6,371	▲10.3%	▲16.5%
調製した豆（加糖あん）	3,637	▲0.8%	2.1%
コーヒー調製品	83	124.2%	53.1%
その他調製品	5,335	15.4%	6.7%
合計	30,692	5.6%	▲4.5%

資料：財務省「貿易統計」
 注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

また、2025年1～12月の加糖調製品の輸入量は、36万6674トン（前年比2.7%減）となった（図11）。

図11 加糖調製品の年別、品目別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは、図10と同じ。

品目別の輸入量は、表5の通りであった。

表5 加糖調製品 品目別輸入量（2025年）

（単位：トン）

区分	輸入量 (トン)	前年比 (増減比)
ミルク調製品	89,453	▲ 9.7%
ソルビトール調製品	104,162	0.7%
ココア調製品	76,480	0.0%
調製した豆（加糖あん）	38,609	▲ 0.2%
コーヒー調製品	616	24.5%
その他調製品	57,355	▲ 2.2%
合計	366,674	▲ 2.7%

資料：財務省「貿易統計」

注：端数処理の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 異性化糖の移出動向

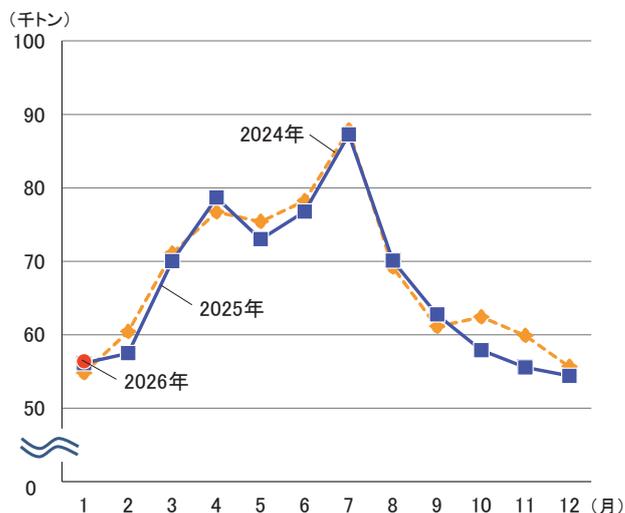
1月の移出量は前年同月からわずかに増加

2026年1月の異性化糖の移出量は、5万6354トン（前年同月比0.4%増、前月比3.6%増）であった（図12）。

同月の種類別の移出量は、次の通りであった（図13）。

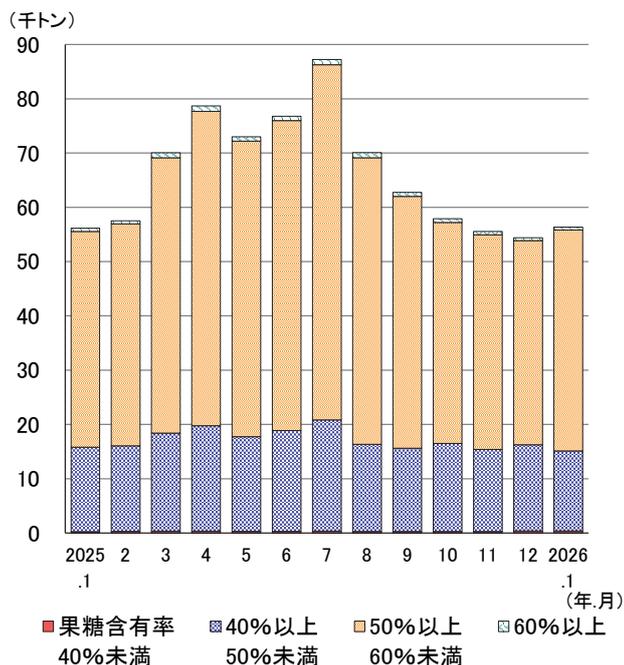
- 果糖含有率40%未満 370トン
（前年同月比57.1%増、前月比0.8%増）
- 同40%以上50%未満 1万4757トン
（同5.3%減、同6.9%減）
- 同50%以上60%未満 4万704トン
（同2.4%増、同8.1%増）
- 同60%以上 524トン
（同9.3%減、同2.6%減）

図12 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図13 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4 価格動向

【市場価格】

砂糖・異性化糖ともに前月と同水準で推移

1月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京	1キログラム当たり241～243円
大阪	同241～243円
名古屋	同244円
関門	同246円

上白糖（小袋）

東京	1キログラム当たり261～265円
大阪	同264～265円

本グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり246～248円
大阪	同246～248円
名古屋	同249円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京	1キログラム当たり244～246円
大阪	同244～246円
名古屋	同245円

1月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり166～167円

果糖分55%もの

同172～173円

【小売価格】

1月の上白糖小袋の平均小売価格は268.8円

マーチャンダイジング・オンRDSPOS（〈全国3800店舗〉、以下同じ）によると、スーパーにおける1月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、268.8円（前年同月差1.7円高、前月差3.7円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは関東などであった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

(注) 地域の内訳は、次の通りである（以下同じ）。

- 関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県
- 首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県
- 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県
- 関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表6 上白糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	319.2	30.5	13.8
東北	284.0	2.0	6.7
関東など	249.4	▲ 7.1	5.5
首都圏	261.9	▲ 4.2	14.1
中部	273.6	7.8	0.8
関西	256.8	4.8	▲ 1.1
中国・四国	288.6	7.4	5.4
九州・沖縄	278.1	4.0	▲ 2.3

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

1月のグラニュー糖小袋の平均小売価格は331.0円

スーパーにおける1月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、331.0円（前年同月差8.0円高、前月差0.2円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かったのは関西であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 グラニュー糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	328.6	10.9	2.3
東北	357.2	0.2	▲ 0.5
関東など	321.6	3.4	▲ 0.7
首都圏	325.8	5.1	▲ 2.2
中部	354.8	9.9	▲ 1.1
関西	306.5	15.5	▲ 0.2
中国・四国	335.7	12.7	4.3
九州・沖縄	333.8	6.5	▲ 0.3

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

1月の三温糖小袋の平均小売価格は308.3円

スーパーにおける1月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、308.3円（前年同月差1.0円高、前月差0.8円高）であった。最も高かったのは北海道で、最も安かったのは首都圏であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表8）。

表8 三温糖の地域別平均小売価格（1月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	362.9	▲ 0.1	▲ 6.3
東北	339.6	▲ 1.7	10.3
関東など	296.5	▲ 5.4	0.2
首都圏	287.1	▲ 4.1	0.7
中部	326.0	0.6	▲ 0.8
関西	296.3	10.9	1.0
中国・四国	335.7	2.8	0.6
九州・沖縄	300.6	7.7	▲ 0.9

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：マーチャンドライジング・オンRDS POS（全国3800店舗））

注1：価格は、消費税抜きの価格である。

注2：平均価格は、店舗別商品別の最高価格の単純平均である。

注3：前年同月価格差および前月価格差は、マーチャンドライジング・オンRDSPOSデータ内における価格差である。

【支出金額および購入数量】

12月の砂糖の支出金額は前年同月からやや上昇

総務省「家計調査」によると、2025年12月における1世帯（二人以上）当たりの支出金額は138円（前年同月比3.8%高、前月比42.3%高）であった（図14）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、430グラム（同4.9%増、同56.9%増）であった（図15）。

図14 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移

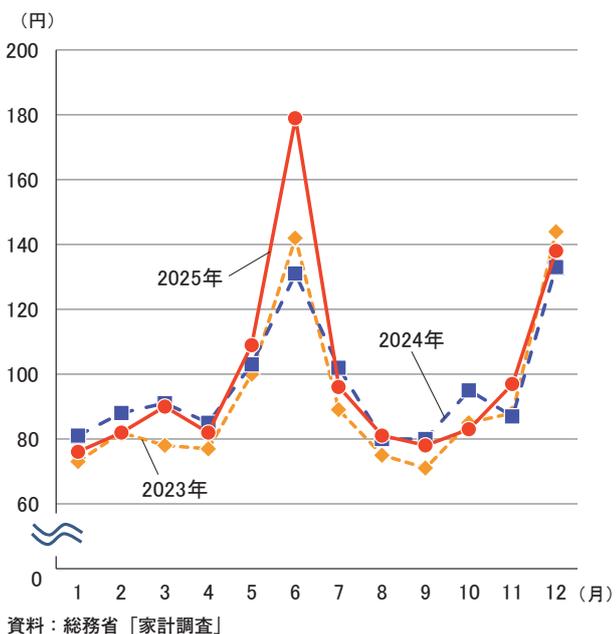


図15 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

